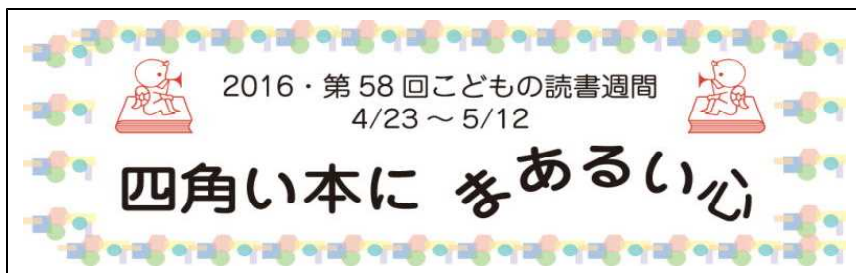




## 4月23日(土)から第58回「こども読書週間」



「子どもたちにもっと本を！」との願いから、＜こどもの読書週間＞は1959年（昭和34年）に始まりました。元々は、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（＜世界本の日＞＜子ども読書の日＞～5月12日）になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにもとても大切なことです。＜こどもの読書週間＞の間、図書館や本屋さんなどでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。＜こどもの読書週間＞は、大人が本を子どもに手渡す週間でもあるのです。

よく、「＜こどもの読書週間＞の“こども”は、なぜ“子ども”ではないのですか？」とのお問い合わせをいただきますが、これは、「こどもの日」に名称をあわせたからです。《公益社団法人 読書推進運動協議会「こどもの読書週間」素材集より》

本は、それを著した作者が、何年もかけて研究した成果や数ヶ月かけて練りに練ったストーリーを、たった数日間で読むことができます。先人たちの知恵の結晶に触れることができるとともに、自分の知らない世界を知ることができるのも読書の良さです。

また、読書を継続することによって高まるといわれている力には、次のようなものがあります。

- ① 問題解決能力
- ② 表現力（文章力）
- ③ 論理的な思考力
- ④ 多面的な思考力
- ⑤ 発想力
- ⑥ コミュニケーション能力
- ⑦ 記憶力
- ⑧ 人間力
- ⑨ 集中力
- ⑩ 知的好奇心

## 5コースに分かれて1年生の下校指導

4月8日(金)から4月15日(金)までの6日間、今年度は5コース（①西門を出て、歩道橋を渡るコース、②正門を出て、北又は南へ分かれるコース、③北小入口信号を渡って、矢野商店の方に進むコース、④北小入口信号を左に、天満宮の方に進むコース、⑤北小入口信号を渡って、八百米商店の方に進むコース、※北小っ子クラブの先生に引き渡すコース）に分かれて、教職員の引率による1年生下校指導が行われました。



# 平成28年度 退任式

4月15日(金)の第5校時に、2～6年生が参加して退任式が行われました。

「校歌合唱」、校長による「退任職員紹介」の後、児童代表が「お別れの言葉」と「花束」を贈り、退任した職員一人一人（周口武先生、星口晋口先生、富口智口先生、山口紀口先生、藤口か口先生、川口敦口先生、藤口順口先生、中口清口先生）から、児童への最後の言葉となる「ごあいさつ」がありました。

北小愛唱歌「夢の船」を合唱して閉会し、児童全員で花道を作って、8名の先生方を大きな拍手でお見送りしました。



【「お別れの言葉」を渡す児童代表】



【花束を贈る児童代表】



【退任職員のあいさつ】




【退任職員お見送り】

## 『北小 学習10のルール』… 当たり前のことを当たり前にする

**①時間になったら席に着く。**  
・日直が号令をかける前に、席に着く。

**②正しい姿勢でいすに座る。**  
・いすに深く座り、机との間は握りこぶし1個分くらいに座る。  
・机の下に足をしまう。  
・ほおづえをついたり、足を組んだりしないようにする。




**③拳手はわかりやすくあげる。**  
・腕をまっすぐ上へ伸ばす。

**④名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。**  
・相手に聞こえる声で、短く「はい」と返事をする。

**⑤友達や先生の話最後まで静かに聞く。**  
・話す人の方に目と体を向ける。  
・途中で口をはさまないようにする。

**⑥その場にあった声の大きさと話す**  
・声のものさしにあわせて話す。



**⑦授業のはじめと終わりのあいさつをする。**  
・はじめ：日直「これから〇時間目の授業をはじめます。気をつけ。礼。」  
全員「お願いします。」  
・終わり：日直「これで〇時間目の授業を終わりにします。気をつけ。礼。」  
全員「ありがとうございました。」

**⑧次の授業の準備をしてから休み時間にする。**  
・次の学習の準備をしてから休み時間にする。  
・立ち上がる時はいすをしまう。

**⑨ノートをていねいにとる。**  
・下敷きを使う。  
・日付、ページ、学習のめあて、問題番号などを書く。  
・線は定規で引く。  
・文字はていねいに書く。  
・鉛筆を正しくもつ。




親指と人差し指でもつ。  
鉛筆を返し、2本の指の付け根にのせる。  
中指を添え、3点で支える。

・鉛筆をもつ手と反対の手で、ノートや紙を押さえる。  
・鉛筆5～6本と、赤・青鉛筆を筆箱に入れておく。  
・鉛筆は自分でけずって準備してくる。  
・学校でけずる場合は、休み時間にする。

**⑩引き出しの中の整理整頓をする。**  
・引き出しの中には、教科書、ノート、筆入れを入れ、毎日持ち帰る。

『北小 学習10のルール』は、「児童全員に必ず身に付けさせたい共通のルール」「担任の先生が替わってもこれだけは変わらないルール」として、一つにまとめたものです。

表紙の所に、＜当たり前のことを当たり前にする＞と書いてあるように、＜当たり前のこと（できて当然ではあるけれども非常に大切なこと）＞は、一旦身に付いてしまえばその児童の底力となって、日々の授業で大きな力を発揮していきます。授業に臨む際の意識の高まりと授業態度の充実は、必ず授業内容のより良い理解に結びつくからです。

